

## 事業所職員向け

## 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	75%	25%	0%	それぞれの特性などで場所などを配慮しているが、利用人数により大変な事もある。児童数に応じて、利用する部屋を増やすなどの工夫をしている。
	2	職員の配置数は適切であるか	75	25	0	利用人数に対しては適正であっても、その日の利用者の状態などによって足りないと感じることもある。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	50	37.5	12.5	富山型デイのため、室内には段差はあるが、スロープを利用したり、手すりを設置する等の配慮ができています。車イス利用の際には少し狭い。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	62.5	37.5	0	定期的に会議を開催し、会議録にて職員間で共有している。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	37.5	62.5	0	保護者からの意見も取り入れながら、業務改善に努めている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	75	12.5	12.5	ホームページに掲載している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	25	62.5	12.5	外部評価はあまり実施できていない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100	0	0	zoom研修なども活用しながら、できるだけ多くの職員が研修に参加できる用にしている。
適切 な支	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	62.5	37.5	0	普段より、気づきなどを職員が声としてあげ、計画に取り入れている。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	37.5	62.5	0	アセスメントツール自体をよく理解できていない。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100	0	9	児童担当の職員同士で意見を出し合い、月毎の予定を決めている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100	0	0	児童が好むプログラムはあえて固定化している。地域行事や季節感のある活動を取り入れるようにしている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	75	12.5	12.5	休日や長期休暇の際には、普段できない活動や課題を決め、支援できている。

援 の 提 供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	87.5%	12.5%	0%	児童の年齢や特性に合わせ、個別活動と集団活動を取り入れた計画を作成している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	75	25	0	勤務時間が異なるため、全体での打ち合わせは難しい。業務に入る前に日割りにて確認したり、職員間で声掛けしながら行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	50	50	9	管理日誌にて情報伝達や情報収集している。話し合う時間がとれない時もあるが、気づいたことを伝え合うようにしている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100	0	0	気になることや気づき等は記録として残している。
	18	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	75	25	0	支援の見直しは行っているが、計画書に反映できていない部分もある。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	25	62.5	12.5	十分には行えていない。
	関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	87.5	0	12.5
21		学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	87.5	12.5	0	
22		医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	75	25	0	学校や保護者とも共有し、連携しながら行っている。
23		就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	100	0	0	書類などで共有できている。
24		学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	75	25	0	必要な情報を提供している。
25		児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	62.5	37.5	0	Zoom研修や資料を活用するなどしている。
26		放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	87.5	0	12.5	障がいのない児童も受け入れているため、常に交流できている。
27		（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	62.5	37.5	0	
28		日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	75	25	0	LINEや連絡ノート、迎えの時などに状況や課題について話している。
29		保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	50	50	0	

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%	0%	0%	必ず利用前に説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	87.5	12.5	0	相談があれば、共に良い方向に向かうよう支援している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	50	25	25	コロナ渦前は行っていた。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100	0	0	苦情があった際には、電話や訪問にてすぐに対応している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	87.5	12.5	0	毎月、会報や予定表を作成し、配布している。
	35	個人情報に十分注意しているか	100	0	0	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	87.5	12.5	9	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	100	0	0	昨年は夏祭りやラジオ体操を実施し、地域住民を招待した。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	50	37.5	12.5	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	25	50	25	定期的には行っていない。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	87.5	12.5	0	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	25	62.5	12.5	身体拘束は行っていない。今後、やむを得ない状況が生じた際には話し合っていきたい。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	100	0	0	保護者からの情報を元に食事について配慮している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100	0	0	